

江野澤 よしかつ

# えのさわ吉克県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

## 袖ヶ浦市 特集

# 県議3期の実績を再検証



開通した袖ヶ浦駅前のアンダーパス

袖ヶ浦市選出で、今年4月の県議選で無投票により4期目の当選を果たした江野澤吉克(えのさわ・よしかつ)県議は、議会内での経験と実績を評価され、今年6月定例議会から県議会の議会運営委員長の重責を担っています。また、江野澤県議は先の台風15号、19号及び記録的集中豪雨被害から、本格的な復旧・復興へ向け、いち早く一部損壊住宅への支援など、被災者の生活再建に向けて県への働きかけを強めてきました。

江野澤県議のこれまでの3期12年に及び県議会活動を振り返ると、袖ヶ浦市内では主に県の予算執行による諸事業で大きな成果が上がっています。すでに完成した主な事業を1面で改めて検証し、現在計画中の事業については4面で紹介し、袖ヶ浦市特集としてご報告します。

# 駅前アンダーパス開通など 市の発展と更なる活性化へ

## 完成した県事業

## アンダーパスの開通

袖ヶ浦駅前の海側区画整理事業の進捗と歩道を合わせて、江野澤吉克県議が長年にわたって県へ要望を続けてきたJR袖ヶ浦駅前のアンダーパス事業が、平成29年7月に完成しました。

これは、都市計画道路高須箕和田線の整備事業の一環で、長年JR線路で分断されていた駅前の海側と陸側が繋がることになり、市の一体感が飛躍的に向上しました。

特に、組合施行の区画整理事業の完成に伴い、海側の市街地開発が進む中、海側と陸側がアンダーパスによって結ばれたことにより、都市としての成熟度が増し、今後、街全体の活性化が大きく進展することが期待されます。

## 富川橋の架け替え完成

市内富岡地区の小櫃川に架かる富川橋の老朽化により、県の道路整備事業の一環で進められていた橋の架け替え工事が、平成29年7月に竣工しました。

以前より車道の幅員も広く、2・5メートルの歩道も整備され、歩行者にとっても安全性の高い生活道路の確保が実現しました。



歩道も整備された富川橋

## 椎の森工業団地2期

アクアラインの着岸地である袖ヶ浦市にとって、長年の懸案だった内陸工業団地・椎の森工業団地の約50ヘクタールの2期造成工事が完了し、平成30年10月に工業団地が完売しました。

浦市の道路交通の利便性から、工業団地の需要は高まっており、現在は進出企業の工場建設が進められています。

企業進出が進むことにより、市への税収も増加し、若者を中心とした雇用も増えるなど、袖ヶ浦市の発展に大きく寄与することが確実です。

東京湾アクアラインの800円化が継続される中、首都圏に近接する袖ヶ浦市は、



## 消火用水施設の完成

2級河川の小櫃川袖ヶ浦市打越地先では、消防車のポンプ性能試験や放水訓練も可能な県内有数の取水施設が完成しました。

## 揚水施設の新設

基幹産業の一つである農業に欠かせない給排水設備の揚水施設が老朽化しており、玉野地区では既存の井戸・揚水機の改修を行い、大鳥居地区では老朽化した揚水ポンプとポンプ室が新設されました。

## ライスセンターの整備

横田・大曾根・百目木地区では、自動乾燥・糶摺り機を有するライスセンターが、千葉県補助事業によって建設され、現在すべてが稼働しています。

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克 県議事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

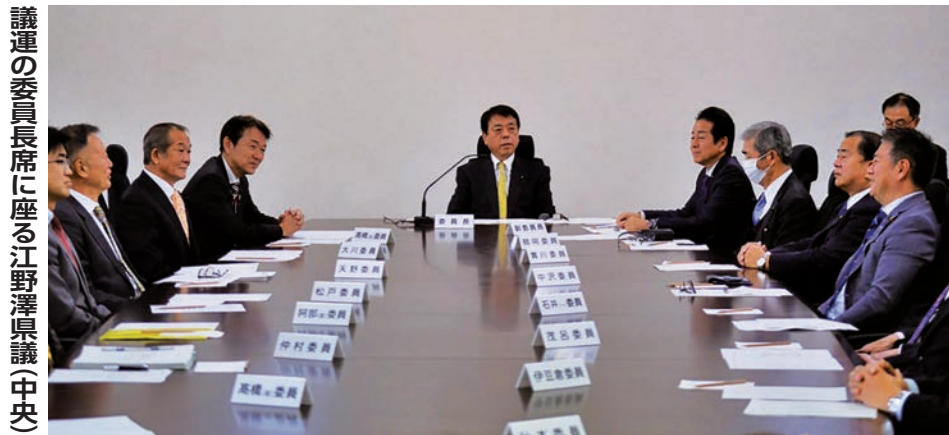
# 災害復旧・復興予算470億円を可決

12月  
県議会

## 一部損壊住宅への支援など

12月県議会に森田知事ら執行部から提案された令和元年度の補正予算案について、ご報告します。江野澤県議は、相次ぐ台風や大雨被害など異常気象に伴い県内全域で発生した甚大な自然災害による被害に対し、当初から自民党千葉県連を通じて早期の対応と復旧・復興を要望してまいりました。その結果、12月補正予算では総額498億円余りが計上されました。このうち、強風で民家の屋根瓦が吹き飛ばされるなどした一部損壊住宅への支援をはじめ、ビニールハウスの倒壊など農林漁業の事業再開に向けた支援対策等、災害からの被災者の生活再建に関わる470億円の予算案は、議会最終日の12月20日に自民党などの賛成多数で可決されました。

### 補正予算の特徴



議連の委員長席に座る江野澤県議(中央)

12月補正予算では、台風15号、19号そして10月25日の大雨被害からの本格的な復旧・復興に向けて、

- 一部損壊の住宅への支援など被災者の生活再建
- 農林漁業者や中小企業への事業再建に向けた支援
- インフラや学校施設等の復旧などに係る経費が計上されました。

また、国内外で発生している豚コレラなどの家畜

伝染病に対して、県内での発生防止に向けた緊急対策経費も盛り込まれました。ほかに、人事委員会勧告に基づく県職員給与改定を行うための人件費の増額なども補正予算に組み込まれました。

### 歳出の内訳

台風15号、19号及び大雨被害からの復旧・復興予算  
総額470億42百万円

1)被災者の生活再建支援 38億5千3百万円

2)産業の再建支援 30億6千2百万円

3)社会福祉施設等の復旧支援 7億3千4百万円

4)インフラの復旧 100億6千6百万円

5)県有施設の復旧 17億6千9百万円

### 補正予算の主な施策

#### (1)被災者の生活再建支援

○被災された方の早期の生活再建を支援するため、これまでの支援制度では対象外だった一部損壊の住宅修理費用について、国の制度を活用した助成と併せ、上限額の上乗せや補助対象の拡大など、県独自の支援が行われます。最大で50万円が助成されます。補助対象は、被災した屋根、外壁等の修理費用です。

○また、住宅が全壊するなど住まいを失った方々に対し、応急仮設住宅として、県で民間賃貸住宅を借り上げる措置も実施されます。

○被災市町村に対する物資の供給や自衛隊への災害派遣要請など、応急復旧活動に要した費用も県の補正予算に計上されます。

#### (2)産業の再開支援

○被災した農業用ハウス等の施設の再建・修繕や撤去費用への助成については、農家の負担を軽減するため、従来よりも県の補助率を上乗せするとともに、復旧に併せてハウスの強化・補強する費用についても新たに支援されます。また、農林業共



15号の強風で破壊されたビニールハウス

同利用施設や卸売市場の復旧・整備費用も支援対象となります。

○休校を余儀なくされた学校では、児童・生徒の補習授業の実施などのために必要となるスクール・サポート・スタッフが追加で配置されます。

○死亡された方の遺族や負傷した方々、住居が全壊した世帯に対し、弔慰金・見舞金が支給されます。

○被災農業者等に対する支援

- 被災農業者等復旧支援事業(新規) 238億4千万円
- 農林業共同利用施設災害復旧事業補助金(新規) 1億9千5百万円
- 被災産地施設支援事業(新規) 9億1千6百万円
- 被災畜産業緊急支援対策事業(新規) 2億2千9百万円
- 水産業共同利用施設災害復旧事業(新規) 1億9千8百万円
- 水産関連施設等復旧緊急対策事業(新規) 3億1千4百万円
- 千葉県中小企業復旧支援事業(新規) 32億円
- 商店街復旧支援事業(新規) 2千万円
- 「がんばろう千葉」キャンペーン事業(新規) 8千8百万円
- 千葉県宿泊支援事業(新規) 5億円 (百万円以下は省略)

○被災地域の復興を支援するため、県産農林水産物の販売促進フェアや観光プロモーションなど、「がんばろう千葉」キャンペーンが実施されます。また、旅行・宿泊料金の割引の支援も行なわれます。

# 千葉県災害復旧・復興に関する指針

## 指針の基本方針を示す

### 千葉県からのメッセージ

記録的な暴風雨となった台風15号・19号及び10月25日の大雨が短期間のうちに連続して発生し、千葉県では、膨大な数の住宅損壊や、広範囲で長期にわたる停電と通信遮断、さらには河川の越水により生じた浸水、土砂災害など、これまでに見えない被害が発生しました。特に、住宅被害では、屋根などの一部損壊や浸水被害が数多く発生し、被災した住民の方は、大きな不安を抱えながら生活しています。また、農林水産業の被害額では、台風災害としては過去最大級となっており、本県経済の成長を支える中小企業においても大きな被害が発生するなど、産業活動にも極めて深刻な影響を及ぼしています。



先輩議員の永年勤続表彰で祝辞を述べる江野澤県議

こうした中、本県では、住民の方の不安を一刻も早く払拭するため、復旧・復興に向けた取り組みを実施しているところですが、引き続き、被災した住民の方の生活再建や産業の再生など、本格的な復旧・復興の取り組みを総合的かつ計画的に推進するとともに、市町村による取り組みを、人的、財政的などあらゆる面で支援していく必要があります。

### 農林水産業者への支援

そこで、「被災者の一日も早い暮らしの再建」「農林水産業や商工業など地場産業の

力強い復活」「オール千葉で災害に強い千葉県づくり」という3つの「基本的考え方」を掲げた指針を策定し、この「基本的考え方」に沿って復旧・復興に取り組んでいくこととしました。被災した住民の方々が少しでも早く元の生活に戻り、安心して暮らしを営んでいただけるよう、地域に寄り添いながら、国や関係機関と連携し、オール千葉で取り組んでまいります。

農協等に対し、農業生産基盤の回復や産地の体制強化、生鮮食品等の安定供給の確保のために必要な被災施設の整備費用について支援します。

被災した市町村、土地改良区等が保有・管理する農業用施設の復旧費用について助成します。

被災害産業界緊急支援対策事業(新規) 2億2千9百万円

- 被災農産施設等復旧支援事業(新規) 238億4千万円
- 被災産地施設支援事業(新規) 9億1千6百万円
- 被災した果樹園の復旧費用のうち、国庫補助事業の対象とならない費用について助成します。

台風・大雨により甚大な被害が発生した農業ハウス等の施設の再建・修繕や撤去について、県の補助率を上乗せして助成し、再建、修繕と併せてハウスを強化・補強する経費についても新たに助成します。



袖ヶ浦高校付近の電柱倒壊



蔵波百々目堰の倒木

## 一日も早い暮らしの再建を!

### えのさわ吉克県議のプロフィール

- 昭和24年(1949年) 11月10日 袖ヶ浦町上宮田に生まれる
- 昭和43年(1968年) 木更津中央高校(現 木更津総合高等学校)卒業
- 昭和46年(1971年) 江野澤工業有限会社設立
- 昭和61年(1986年) 第41回山梨かいじ国体出場 クレー射撃
- 昭和62年(1987年) 第42回沖縄海邦国体 個人3位
- 第40回県民体育大会 クレー射撃 個人優勝
- 昭和63年(1988年) 袖ヶ浦町議会選挙初当選
- 平成4年(1992年) 都市建設常任委員会委員長就任
- 平成17年(2005年) 袖ヶ浦市議会議長就任
- 平成19年(2007年) 千葉県議会選挙初当選
- 平成21年(2009年) 環境生活警察常任委員会委員長就任
- 平成23年(2011年) 千葉県議会選挙2期目当選
- 平成24年(2012年) 県土整備常任委員会委員長就任
- 平成26年(2014年) 日本クレー射撃協会理事就任
- 平成27年(2015年) 千葉県議会選挙3期目当選
- 総合企画水道常任委員長就任
- 平成29年(2017年) 自由民主党千葉県支部連合会組織本部長就任
- 決算審査特別委員会副委員長就任
- 平成30年(2018年) 予算審査特別委員会副委員長就任
- 平成31年(2019年) 千葉県議会選挙4期目当選
- 議会運営委員会委員長

- 現在
- 環境生活・警察常任委員会委員
  - 千葉県インディアカ協会会長
  - 千葉県土石採取対策審議会委員
  - 千葉県相撲協会副会長
  - 千葉県クレー射撃協会会長
  - 千葉県猟友会顧問
  - 日本クレー射撃協会筆頭監査

# 子ども・子育て世代への支援など

## 県の新年度予算要求の概要 (総額1兆8325億円)

令和2年度の千葉県の当初予算編成に当たり、各部署から提出された予算要求の概要が公表されましたので、その主な内容をご報告します。ただし、要求段階の概要ですので、予算額等は今後、国の制度改正や予算編成の動向、内容の精査等により大幅に変更される可能性があります。

### 予算編成の基本的考え方

令和2年度は、千葉県の総合計画「次世代への飛躍輝け！ちば元気プラン」の総仕上げの年と位置づけられており、取り組むべき喫緊の課題について積極的に対応策を検討し「くらし満足度日本一」の実現に向けて、必要な事業が計上されることとなる見通しです。

具体的には  
○子どもたちが安心して学べる環境づくりなどの

### 主な重点事業の概要

○「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業  
(要求額6150万円)

輸出に取り組む生産者団体への支援を行うとともに、国内外での商談会や海外でのフェア開催、見本市への出展などを通じて積極的な販売促進活動を実施し、県産農林水産物の輸出を促進する。

●「輝け！ちばの園芸」  
次世代産地整備支援事業  
(要求額3億5000万円)

○子ども・子育て世代への支援の充実  
○頻発する自然災害に対する防災・減災対策など「くらしの安全・安心の確立」

○道路ネットワークの整備などの「社会基盤づくり」や「産業の振興」

○東京オリンピック・パラリンピックの円滑な準備・開催とレガシー創出  
などが中心政策となる見込みです。

○園芸産地の生産力向上のために、機械化による規模拡大や高収量・高品質を実現するための施設化、既存施設のリフォーム、施設園芸におけるスマート農業の導入等の取り組みを支援する。

●農業次世代人材投資事業  
(要求額6億8186万円)

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、50歳未満の就農予定者及び新規就農者に対し、資金を

交付する。  
●インシシ等有害獣被害防止対策事業  
(要求額3億6827万円)

インシシなどの有害獣による農作物被害の防止のため、市町村が実施する防護柵の設置や捕獲機材等の購入に対し助成する。

●保育人材確保等事業  
(19億5422万円)

不足する保育士の確保を図るため、潜在保育士等の就労支援、各種研修、給与改善等の人材確保・定着対策を実施する。

●子ども・子育て支援事業  
(要求額317億7200万円)

子ども・子育て支援法に基づく各種施策を実施する。

●児童虐待防止関連事業  
(要求額17億1873万円)

児童相談所運営・施設整備事業など各種関連事業など。

●特別養護老人ホーム建設事業補助  
(要求額44億8190万円)

特別養護老人ホームの整備を促進するとともに、特別養護老人ホームに併設するショートステイの整備を促進する。また、養護老人ホームの改築を行うための補助を行う。

制の構築・各種相談・認知症予防等の総合対策を実施するとともに、医療・介護の連携による支援体制の構築を図る。

●がん対策事業  
(要求額1億7754万円)

平成30年に策定した「千葉県がん対策推進計画」に基づき、がんの予防、早期発見、がん医療の充実、緩和ケアの推進など総合的ながん対策を進める。

●千葉県地域防災力向上  
総合支援補助金  
(要求額1億5000万円)

近年の災害や今年度の風水害への備えが急務であることから、自助・共助の取り組みをより一層充実、加速させるため、市町村が地域の実情を踏まえ、主体的に創意工夫をもって取り組む事業を幅広く支援する。

●高規格幹線道路等の整備  
(要求額52億円)

首都圏中央連絡自動車道などの高規格幹線道路等の整備により、地域間の交流・連携を強化し、県民の利便性向上や地域経済の活性化を図る。

●国道・県道の整備  
(要求額252億4368万円)

成田空港や東京湾アクアラインをはじめとする本県のポテンシャルを最大限に生かす、人やモノの移動による地域の活性化を図るため、圏央道などの高速道路と一体となつて機能する地域の幹線道路や県民生活を支える国道県道の整備を推進する。

制の構築・各種相談・認知症予防等の総合対策を実施するとともに、医療・介護の連携による支援体制の構築を図る。

## 市内で計画中の県事業

### 都市計画道路

都市計画  
道路中野畑  
沢線・西内  
河根場線  
は、アクア  
ラインの着  
岸地金田地  
区から奈良  
輪高須地区  
を結ぶ新し  
い道路で  
す。これに  
より、中野  
畑沢線の延  
伸と西内河  
根場線の4  
車線道路の  
一体化が実  
現する計画  
です。



### 高谷バイパス

千葉鴨川線・高谷工区で大規模なバイパス工事が進行中です。市内下泉地区で一部遅れが見られるものの、平成31年度中には「高谷バイパス」として完成の見通しです。

### 上泉線野里工区

平岡小学校の通学路にあたる県道横田停車場上泉線は、急カーブのうえ歩道が確保されておらず、保護者からも歩道整備の要望が出ています。幅員の十分な確保と安全な通学路の整備に向けて、計画が進められています。

### 長浦上総線

長浦上総線の阿部地区・野田地区では、近年の通行車両の増加に見合う道路改良が課題でした。



### 花川橋の架替え

千葉鴨川線上の新橋の開通後、架け替えが予定されています。

通学路であるにも関わらず、車両規制が徹底されず、地元から不安の声が上がっています。住民説明会を経て、今後、測量のうえ工事着手が予定されています。